

04

阪南大学和泉研究室と取組む文化財を活かした地域づくり ニュースレター

阪南大学国際観光学部 和泉ゼミが考えた 泉南市での

観光まちづくりプラン公開プレゼン！

日時：平成31年1月19日（土）

14:00～17:00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：52名（阪南大学生14名）

■市民に提案、市民とアイデアづくり

和泉先生の「観光まちづくり」に関する話題提供のあと、学生3グループによるプレゼンを実施。各グループとも「書き入れないほど」の多彩なアイデアの提案がありました。

そのあとが本番の、学生が一緒になってアイデアづくりを行うワークショップ。この日参加した市民は、学生から提案のあったアイデアのうち一つを選び、提案した学生と一緒にアイデアをさらにふくらませました。

ワークショップで出た案は、1班の「山田家と信達



宿活性化PJ」、2班の「●●●（未定）」、3班の「藤フェス」といったアイデア。どの班もやる気満々で、具体的な話につながりそうです。

今後はこれらのアイデアをもとに、具体的な取組みへとつなげるためのワークショップを実施します。



「山田家と信達宿活性化PJ」山田家での炊飯体験、砂川駅での作品展示、長慶寺での修行体験、など熊野街道を軸にしたプランです。この取り組みにより地域で「お金が回る」仕組みをつくるのが目標です

【今後の予定】ご紹介する3つのアイデアをもとに、ワークショップ(4月から実施予定)で企画として練り上げ、プランの実施をめざし活動を続けます。これからが本番！皆さまのご参加をお待ちしています。

この取り組みに 参加してみたい方大歓迎です！
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789
メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp



「●●● (未定)」バスとバス停をつかった「アートな！」プラン。コミュニティバスに市民がペイントする、バス停をアートにリメイクする、などして「映える」スポット化を目指します。



「藤フェス」毎年開催されている熊野街道信達宿藤まつりにあわせて、藤ジャムや、街道沿いの牛乳屋さんとコラボしての「ご当地ソフト」開発、暗い街道沿いを灯籠でライトアップしたり…と盛りだくさんのプラン。